

「まちづくりファンド」は、高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース



まちファン

39号

2022年10月31日

2022年度公益信託「まちづくりファンド」公開審査会
2021年度公益信託「まちづくりファンド」最終発表会



2022年7月23日～24日、2021年度最終発表会と2022年度公開審査会が高知市たかじょう庁舎で開催されました。今年はファンド誕生から20年目にあたります。各団体の発表であらためて地道な活動の大切さを実感しました。新設された「ふくしまちづくりコース」は1団体が採択され、これからますますの広がりが期待されます。

NEW! B ふくしまちづくりコース 上限 10万円

B1 世代間交流のできる居場所づくり 一社)地域学校協働・家庭教育支援・世代間交流センター もうひとつの大きな家族

代表 野村 ゆかりさん



この看板が目印



おみやげに
ノートもらったよ

Q1 どんな活動をされていますか？

潮江南地区で子ども食堂・地域サロン「ほっと笑(しょう)」を運営しています。地区内でまちづくりについて話し合いを重ねるなかで「世代間交流のできる場所がほしい」という声が高まり、今年5月にオープンしました。

Q2 助成金の使い途は？

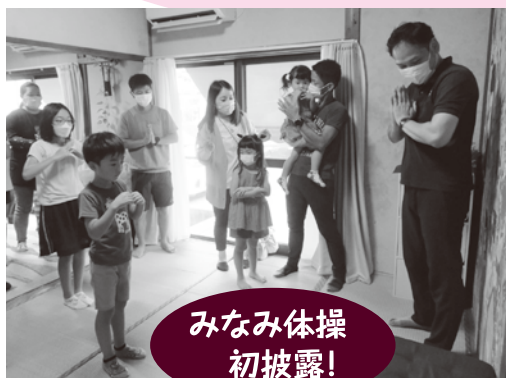
子ども食堂や地域サロンとは別に、月1回土曜日に親子体験イベント(ものづくり・音楽・体育など)を開催しています。まちづくりファンドの助成金は、その費用に充てています。

Q3 この日の親子体験イベントで行われた『みなみ体操』とは？

『みなみ体操』は、新しい地域の体操として高知市社会福祉協議会と包括支援センターの職員が共同で考案してくれたものです。子どもから高齢者まで一緒に楽しみながら体を動かせる体操となっています。

Q4 今後の活動について一言お願いします。

私は、小学校の元教員です。当時は、子どもたちに直接手を差し伸べられないことをもどかしく感じていました。今は、地域の居場所として子どもたちと直に触れあい、にぎやかに過ごせることがとても楽しいです。これからも「みんながハッピーで笑顔あふれるまち」を目指して活動を続けていこうと思っています。



みなみ体操
初披露!

みんながハッピーで!



代表 野村ゆかりさん

イベントや地域活動にも参加し、つながりをつくり、笑顔と会話があふれる世代間交流のできる居場所づくりを実施したいです。一般社団法人と行政と部局間との連携・協働によるプラットフォーム化を行い、住民自治による地域の活性化が進んでいくことを期待しています。

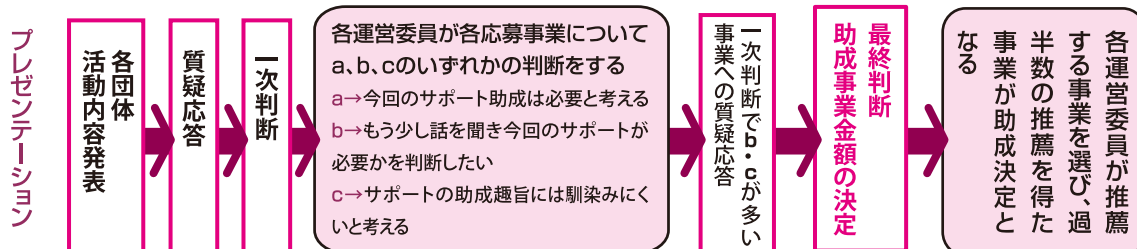
●応募状況

	[A]学生まちづくり	[B]ふくしでまちづくり	[C]まちづくりはじめの一步	[D]まちづくり一歩前へ	[E]まちづくり拠点整備
応募事業数	0 事業	1 事業	2 事業	5 事業	0 事業
採択事業数	0 事業	1 事業	2 事業	5 事業	0 事業

●A・Bコース

事前の書類審査・運営委員との質疑応答を経て、運営委員会で助成団体が決定
(Bコース「地域学校協働・家庭教育支援・世代間交流センターもうひとつの大きな家族」はP1に掲載)

●C・Dコース



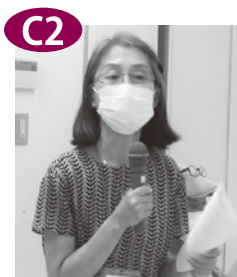
●C まちづくりはじめの一步コース 上限 10万円



C1 種崎地区を元気にしたい!

パーカッションバンド「エスペランサ」

「市内唯一の海水浴場を湘南のようにしたい!」その思いで、平成2年7月から種崎で海の日コンサートを催してきました。今年は第6回目で、演奏、ダンス、童謡など6バンドが参加予定。コロナ禍で自粛が続いている中、種崎地区の集いの場になればと願います。



C2 地域で楽しむ大人バレエ

高知プリマ会

春野町平和公民館で、週1回大人バレエ運動を実施し、日頃から心と体を整えることを習慣化します。一般の人々を中心に、無理のない形で仲間と楽しむことにより、地域の人々のつながりを強め、プリマの気持ちで日々の生活を過ごせるきっかけづくりとしたいです。

●D まちづくり一歩前へコース 上限 30万円



D1 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ、町を元気にしよう

仁ノ八幡宮保存会

「はじめの一步コース」からのステップアップ事業。これまで開催してきた秋祭りを軸に、短歌教室や苔玉づくりなど、新しい催しを地域の小・中学生や住民と共に手掛けることで、持続可能な地域活性に繋がっていきます。また、今年度は本殿改修お披露目もかねた「春祭り」も開催予定です。



D2 高知で自作甲冑教室をやろう~市民が作る市民参加型まちづくり~

高知自作甲冑教室実行委員会

これまでの受講生を中心に、甲冑隊を結成しており、地元の祭りに参加することでお披露目の場とするともに、祭りと地域を盛り上げていきます。また、事前説明会を開催することで、参加者の甲冑に対する知識と理解を深めていきます。今年度は、長宗我部祭りにも参画予定です。

D3



無料電話相談 “聴いてもらって安心ホットライン”

特定非営利活動法人キャリア・ライフ高知

昨今の社会情勢から、相談件数も増加しています。これまでの経験を生かしたアドバイス体制を継続すると共に、今後は面談にも繋げていきたいです。また、持続可能な事業とする為、財政基盤が安定するよう、新たな収入源を視野に入れた事業も検討していきたいです。

D4



アート×イートで！未来子育て環境を整えよう

FFC高知(フーズフォーチルドレン高知)

「食育・遊び・仲間づくりで子どもの未来と食と環境を整える」講座を開催。今年度は県内在住の講師を中心に開催します。昨年度の活動で、「仲間づくり」「場所づくり」が進みました。高齢者にもZoomをレクチャーするなど、コロナ禍でも状況に対応しながら柔軟に事業を実施していきたいです。

D5



潮江地区津波避難ビル・防災マップの作成

潮江防災士会

これまでに作成した防災マップを基に、新しく「津波避難ビル」情報を記したマップを作成します。小・中学生とも協働し、これからの潮江地区の防災、減災計画に繋がっていけばと考えます。防災マップ作成を通じて地域防災を再認識し、コミュニティが発展することで、まちづくりにも繋がっていくことを一番の目的と考えます。

●公開審査会を終えて

●運営委員長

増田 和剛

高知中・高等学校



まちづくりを始めるにあたって、「どんな町をつくりたいのか」というイメージづくりがまず必要でないかと感じました。そして、そのイメージを伝えるための活動は、まちづくりへ参画するきっかけとしての一歩ではないかと思えます。

●副運営委員長

堀 洋子

社団法人高知県建築士会



新たに加わった「ふくしでまちづくり」コースに一件の応募がありました。「みなみ連合会」の地域で「世代交流の場所」での活動を、一般社団法人「もうひとつの大きな家族」を設立し、子育て親子・高齢者の交流イベントで笑顔と会話があふれる世代間交流の場所づくりをされます。

●運営委員

高橋 鉄昭

高知市社会福祉協議会
土佐山健康福祉センター



今年の公開審査会に提案された事業は、これまでも当ファンドを活用されているグループでしたので、あまり新鮮さは感じませんでしたが、皆さんの熱意は十分伝わってきました。そんな熱い思いを活かした新たな展開に期待しています。

●運営委員

四宮 成晴

四宮計画事務所



事業遂行の中で助力してくれる方への対価の考え方の相違が如実に本公開審査会。補助金、助成金、委託金などなど、それぞれの性格によって支払うべく謝金単価は異なるべきなのか。心が軋む。

●運営委員

田中 希和

公益財団法人高知市
文化振興事業団



長らくコロナ禍でも、対面や実地での開催を基本として事業を企画する団体さんが多かったと思います。リモートより効果的だと判断してのことだと思うので、実施に向けた各団体さんの工夫も楽しみにしています。

●運営委員

中平 大輔

社会福祉法人昭和会



様々な活動の中に、親子で体験できる催しや、小・中学生へ働きかける取り組みなどもあり、期待しています。その中で、一人、また一人と「豊かさ」が伝わって、波及していくことを願っています。

●運営委員

吉本 怜

高知工科大学
(経済・マネジメント学群)



私が今回の公開審査で考えたことは、応募団体が行う事業の継続性です。いずれはファンドの助成金に頼らず、自分たちの収益で活動を行えるような自立した活動かどうか、こうした面を中心に審査を行いました。



●思いのある活動だからこそ、審査する側も、される側も真剣です！



だがしやふいーか
ひとり一人の子どもを気にかけて
くれる大人を増やしたい



仁ノ八幡宮保存会
祭を通して高校生と
つながれたのがうれしい!



潮江防災士会
防災マップづくりで
地域の意識が高まった!



2021年度 助成団体 最終発表会



高知自作甲冑教室実行委員会
実感した甲冑人気、
これからも頑張ります!

特定非営利活動法人
キャリア・ライフ高知
その人らしい人生を送るために
電話でサポートしたい!



FFC高知
(フーズフォーチルドレン高知)
ミッションは子育てママを笑顔にする!

特定非営利活動法人
こうちネットホップ
(旧ホームレス支援と貧困問題を
考えるこうちの会)

誰一人排除されない、
居場所のあるまちづくり



A 学生まちづくりコース

上限
5万円

A1 子どもの居場所としての
駄菓子屋づくり

だがしやふいーか

子どもの生活の中に、その子を気にかけてくれる大人を増やしたいという思いで活動してきました。実践を通して分かったのは、どんな子ども「聞いてほしい」「見て欲しい」という思いを抱えていることです。また、仲間づくりの難しさについても実感しています。今後は、後輩への引き継ぎや、だがしやのノウハウを積極的に発信していきたいです。



B まちづくりはじめての一步コース

上限
5万円

B2 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ
町を元気にしよう

仁ノ八幡宮保存会

短歌・イラストの募集をきっかけに多くの方々に協力をいただき、祭りの賑わいを維持し、さらに盛り上げることができました。特に高校生とつながることができたのは大きな成果でした。今後も校外学習の場として継続的な関わりを約束してくれており、少子高齢化の地域としてはありがたいことと感謝しています。

意見交流会



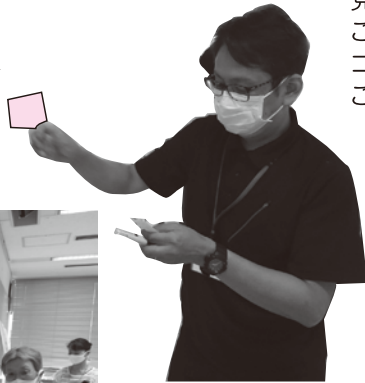
😊 新たな視点やヒントが得られました

😊 これからも頑張ろうと背中を押されました

▶ ふせんのコメントを見て、意見交流。ここで団体さん同士コラボする話が出ることも



ここがこの団体さんのすごいところだな～。
どんなコツがあるのかな～



◀ 高知市まちづくりファンド名物 ふせん貼り



C3 高知で自作甲冑教室をしよう ～市民が作る市民参加型まちづくり～

高知自作甲冑教室実行委員会

秋に行われた長宗我部フェスの1イベントとして武者行列を行い、県内外から甲冑武者の参加がありました。来場したお客さんからの評価も上々で、中には武者行列を目当てに来たという人もいました。地域の歴史を発信するために、有志で甲冑を作りたいという声もあり、今後はそのような相談にも対応していきたいと思っています。

C4 アート×イートで！ 未来子育て環境を整えよう

FFC高知（フーズフォーチルドレン高知）

「子育てママを笑顔にする」をミッションとして活動しています。講座を開催することで、親子に食と遊びの大切さを伝え、栽培体験や表現する機会を作ることができました。それにより子育て世代のコミュニティが広がり今後につながっていく希望を感じます。今後も未来の子どもたちが生き生きと育つ高知市を目指し活動していきたいです。

◎ まちづくり一歩前へコース 上限 30万円

C1 潮江地区 津波避難路・防災マップの作成

潮江防災士会

今回作成した「潮江地区津波ハザードマップ（緊急避難場所編）」を配布したところ、非常に分かりやすいという声を多く頂きました。内容も幅広い分野を掲載でき、地域住民の防災意識の高まりや啓発につながったと感じています。また、今後、この防災マップが、地域の防災力向上につながる資料となればと考えています。

C2 無料電話相談 “聴いてもらって安心ホットライン”

特定非営利活動法人キャリア・ライフ高知

人々が自分の力を十分発揮し、いきいきとその人らしい人生を送る安心安全なまちづくり。その実現のために電話という手段を通じて悩みに寄り添い、共感・受容して心をサポートしてきました。これからも私たちの行っている「無料電話相談」が、身近な隣人として悩みや苦しみを軽減し、解決の糸口につながるよう貢献できればと考えています。

🏠 D1 まちづくり拠点整備コース 上限 100万円

D1 緊急避難場所（シェルター）整備事業

特定非営利活動法人こうちネットホップ （旧ホームレス支援と貧困問題を考えるこうちの会）

助成金によりホームレスやDV被害者の居場所を確保することが出来ました。また、マスコミに取り上げられたことで、当事者からの連絡も増えています。今後も生活困窮者等の緊急避難施設として提供し、関係機関や団体と連携しながら、自立に向けた支援を行うことで、誰一人排除されない、居場所のあるまちづくりに寄与できるものと考えています。

増田ノオト 最終発表会・公開審査会を終えて一委員長のつぶやき

まちづくりファンドは今年20年目を迎えます。改めて、一足飛びには物事が進まない地道な活動で、一人でも多くの方に活動を知ってもらう、すそ野を広げていく活動が大切だと感じました。その中で、これからは、今いる皆さんが、地域の中で「黒子」になっていかなければならないと思います。表立ってリーダーシップをとって進める時期も必要ですが、いつまでも一人で走り続けるのではなく、役割を継承していくことが必要です。



その為には意識してもらいたいことがあります。それは、一方通行にならず対面通行で活動することです。一方通行の活動では自己満足してしまい、ひとが集まらず、終わってしまいます。様々な価値観の中で、自分達の活動の必要性を知ってもらい、共感しあえる仲間を増やし、世代交代が進んでいく、そういったひとづくり、環境づくりを、事業を通じて行い、広げていくことが「まちづくり」に繋がって行くと感じます。



F まちづくりたまごコース

上限
3万円

助成決定!

F1 おもちゃの広場 (おもちゃと遊びの交流サロン・木育) こうちあそびマルシェ

子供たちと親子の遊び場として『おもちゃの広場』を開催し、遊びをきっかけに親子のコミュニケーションや地域の人々との交流を広げていきます。木のおもちゃに触れる体験を通じて親子で木材の良さや利用について考えるきっかけになることを期待しています。



『まちづくりたまごコースは、12/20 まで応募受付中!』



お知らせ

まちづくりファンド助成団体の活動発表を聞きに来ませんか?
まちづくりに興味がある方、他団体とつながりたい方など
どなたでもご参加いただけます!

●中間発表会※予定

2023年1月22日(日)午後
場所 高知市たかじょう庁舎 6F

寄付のお願い

まちづくりファンドは皆様のまちづくり活動を支援する仕組みです。

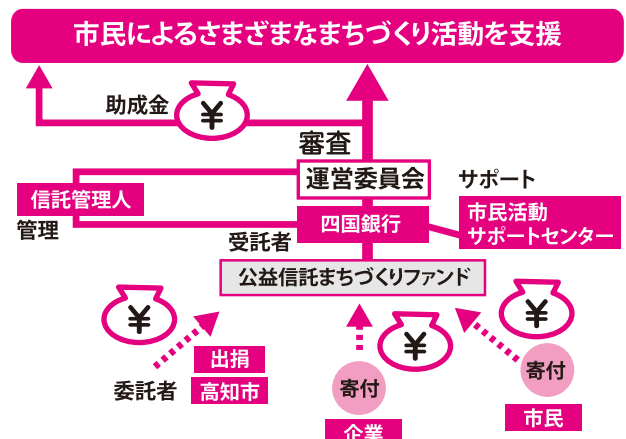


まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐(しゅつえん)された基金を毎年取り崩しながら助成しています。少しでも長く市民のまちづくり活動に活かせるよう、多くの皆様のご寄付をお願いいたします。

寄付に関するお問い合わせ・お申し込みは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行 コンサルティング部 信託担当
TEL088-871-2111(代表)
〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

公益信託高知市まちづくりファンドのしくみ



お問い合わせ

高知市市民活動サポートセンター
(月~金 10:00 ~ 21:00、土 10:00 ~ 18:00)
TEL 088-820-1540
〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43
高知市たかじょう庁舎2階
E-mail info@kochi-machifun.org
https://www.kochi-saposen.net

市民活動の輪を広げようと、1999年4月に高知市が設置した施設です。現在「認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議」が運営を担っており、貸会議室の利用(要登録)、ボランティアや市民活動に関する様々な相談や情報提供、活動に必要な機器の貸出しにも応じています。仲間を広げたり、活動のお知らせをする掲示板や団体が利用できるメールボックスもあります。活動の参考になる講座等も開催していますので、お気軽にご活用ください。